

すたんぴーど特別取材 皮膚科治療の美容分野活用 夏編

野口皮膚科医院
院長 野口 幹正氏

野口皮膚科さんでは以前の取材にて、新しい治療法の導入を検討されているとのことでしたが、以後、何か新しい変化がありましたか。

はい、夏が近づいているためか、わきがの治療と脂肪吸引の依頼があまりに多く、導入しました。また、肌を多く見せる季節ですので多くの方々がレーザー脱毛をしいらっしゃっています。そして、ピーリングの治療法を細分化しています。

なるほど。それではまず、わきがの治療と脂肪吸引についてそれぞれどんな事をするのかお話しただけですか。

では脂肪吸引術についてですが、脂肪を吸引する前には局所麻酔薬を切る部分に点滴して、小さな切開により脂肪を吸引しますので痛みはありません。昔は術者の手の往復運動で脂肪を砕いて吸引していましたが、現在、当院では先端のみがちょうど電気歯ブラシのように高速振動する専用機を用いていますので安全です。簡単な手術ですので日帰りできます。

また、わきがは腋臭症という皮膚疾患ですので、健康保険適応での治療を行っています。局所麻酔で臭いの元となるアポクリン腺という部分を取ってきます。簡単な手術ですのももちろん日帰りできます。

思ったよりも手軽なものですね。それにしても、わきがが皮膚疾患として健康保険での治療ができるとは知りませんでした。

わきがは皮膚疾患として保険診療ができるとご存知無い方が多く、よく費用について問い合わせを頂きます。そこで大まかな説明をすると驚く方もいらっしやいます。

では次にレーザー脱毛についてですが、また前回のインタビュウのときに3回程度の治療が必要になるとおっしゃっていましたが、それはなぜですか？

永久脱毛の状態までには毛の生え変わるサイクルを考えると、大体2ヶ月おきに通常5回以上の施術が必要です。回数を要するため、総費用がかかってしまうため途中で断念されていたかたも多いようですので、当院では3回のみ料金を払って頂いて、4回目以降の処置料は無料にしました。肌を多く見せる季節になりつつありますから、最近では予約がいっぱいになりつつあります。せっかくなので予約がいつでも長時間お待ちいただいたりということも考えられますので、予約をお願いしています。

ではピーリングについて

個々の患者さんの疾患や症状、また年齢や肌質にあわせての使い分けをしたほうがよいことがわかってきたため、現在では4通りの薬剤を使い分けるとにしました。さらに、刺激感・施術後の赤みなどのトラブルは、薬剤の種類・濃度よりも酸が主役であることがわかり、pH調整に細心の注意を置くこととしました。また、レーザーピールも部位、状態に

応じて設定を細分化しておこなうこととしました。

ピーリングと言つと素人でも出来そうなイメージがありました。専門家はレベルを高めていくものなんですね。

単に、「お肌がいいもの塗りました。」「お肌がよくマツサージしました。」、なんていう意味不明なことにならないように学会内の情報収集や、皮膚科医間の情報交換を積極的におこなっています。にきびに関しては学生さんが多いので、今後は学割を導入します。

最後になりますが、何か今後検討されていることがあればお教えいただけますか。

最近では化粧品選び方やスキンケアの相談、また他業者とのトラブル相談も増えており、驚いています。私たちとしては地域の皆さんに正しい知識を啓蒙したいと考えています。職場などの勉強会として、レーザー脱毛だとか、脂肪吸引だとか、日ごろ聞いたことのある美容処置について、医学的な知識を元にお話しすることもおこなっています。

また、問い合わせが多いので、迷っているのですがボトックス注射やコラーゲン注射などはとりあえず、近い人たちのみの試験期間が続いています。

ありがとうございました。今回も興味深いお話が伺えて私自身もとても参考になりました。ぜひ、勉強会のお話も今後伺ってみたいと思います。



この看板が目印です。



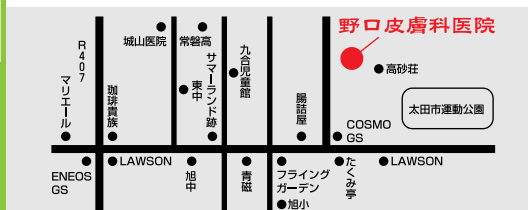
取材協力

野口皮膚科医院

住所/太田市飯塚町704-1 電話/0276-60-1211

診察時間/午前(9~12時)
午後(15~18時)

診察科目/皮膚科・形成外科
休診日/日・水・祭日、土曜日午後



院長 野口 幹正 昭和38年生まれ

平成2年群馬大学医学部卒 日本皮膚科学会認定専門医

日本皮膚科学会指定研修施設指導医

平成14年4月野口皮膚科医院を開院

